



「読書のススメ」まずは、いろいろな本を手にとってみよう!

「楠小の図書室は素敵ですね!」と訪れた方によく言われます。入り口には、尾方先生が季節に応じたコーナーを設けてくださっています。くつろいで本に親しむことができる畳のスペースもありますし、室内も明るくてゆっくりと読書を楽しむことができます。

今は愛鳥週間にちなんで、鳥にまつわる本が、表紙が見えるように紹介してありました。表紙が見えるように飾ってあると手にする子どもが多いそうです。昨年度は1年間で200冊以上の本を借りて読んだ児童がいました。ほぼ、毎日のように図書室に足を運んでくれたそうです。

本をたくさん読む子どもたちには、次のような共通要素があるということです。

- 学校以外でも本を読む。
- 図書館や書店によく行く。
- 家に本がある。
- 家族が読書をしている。
- 家族と本の話をする。 などなど

同じ本を何回も読む子どももいます。同じ本を繰り返し読むことも、語彙力や表現力が高まるそうで脳科学においても効果が指摘されています。今年、こども図書館「こども本の森 熊本」が開館しました。子どもたちにとって本との出会いの場が新しくできたことは喜ばしいことです。ぜひ、ご家庭でも本のこと話題にあげてみてください。

※ 図書館の様子は学校ホームページ「くすのき日記」でも紹介しています。

体力テストに向けて。

来週の5月28日(火)に体力テストを実施します。3年生以上の学年で行います。

昨年度の体力テストでは、多くの種目で県の平均値を上回る結果でした。その中で「長座体前屈」と「立ち幅跳び」に課題が見られました。

「長座体前屈」は体の柔軟性をはかる種目です。脚をのばして座った長座の姿勢からどれだけ前に屈めたかを計測します。

「立ち幅跳び」は踏み切り板に両足をそろえて置き、助走をつけずに体の屈伸運動で反動をつけてどれくらい遠くに跳べるかを計測します。腕の振り上げとジャンプするタイミングを合わせると記録が伸びます。

「長座体前屈」や「立ち幅跳び」などは、ご家庭でも練習することができます。日頃からストレッチや体を動かす運動は、健康な生活を送るうえで大切なことです。この機会に、ご家庭でもお子様と一緒に取り組まれてみてはいかがでしょうか。



職員の「心肺蘇生法研修」を実施しました。

今週の月曜日の放課後に職員の「心肺蘇生法研修」を実施しました。楠消防署から3名の職員の方にお越しいただきました。体育館では、消防署職員の方から正しい心肺蘇生の行い方などを教えていただきました。ダミー人形やAED(自動体外式除細動器)を用いた研修では、みんな熱心に取り組みました。また、プール学習に向けて、プールサイドに移動し、体育主任で心肺蘇生法インストラクターでもある三谷先生から子どもの見守りの仕方や緊急時の対応などについて話していただきました。

プールでの事故を防ぐために、職員全員で改めて気を引き締め、十分に準備を行っていくことを確認しました。